

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	810500	2998-9253
事業コード	810511	歴史的建造物解体部材復元事業		教育総務部文化財保護課
開始年度	16	年度	終了年度	年度
担当部課		グループ	調査保護	

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画			文化財保護法
	関連・類似事業	ふるさと研究活動事業			所沢市文化財保護条例
	総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 市民文化	基本方針	風土に培われた歴史と文化の伝承と発信
事業開始の背景	中心市街地再開発の進展に伴い解体された3棟の歴史的建造物(商家)の部材について、将来的な復元を目指して保管した。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)	盛期の所沢の町場の景観を伝える貴重な文化財であり、町場の暮らしを復元できる素材として郷土学習やまちづくりに活用するため。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	3	棟
	部材を保管中の歴史的建造物			平成 27 年度	3	棟
	事業の具体的な内容及び実施方法	解体した部材の適正な保存管理(殺虫・殺卵のためのくん蒸処理) 保管環境の整備(保管庫の清掃・風通し、敷地内の除草・落ち葉掃き・枝打ちなど) 歴史的建造物(保管部材)の復元・活用計画の策定 歴史的建造物(保管部材)の復元と活用				

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
予算現額		19		1,032		271	
決算(見込み含む)		43		861			
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
正規職員人件費		0.20 人	1,744	0.37 人	3,204		
事業費合計		1,787	4,065				
財源内訳	一般財源	1,787		4,065		271	
	国・県支出金						
	その他()						

実績	項目名	項目説明	単位	H 26				H 27		H28見込み	将来目標
活動実績	保管環境の整備	保管庫清掃等の作業回数	回		2	2	2	2	2		
	くん蒸処理(隔年実施)	保管部材のくん蒸作業回数	回		0	1	0	0	0		

成果	項目名	項目説明	単位	H 26		H 27		H28目標値	将来目標
				目標値	実績	目標値	実績	3	3
				成果指標	歴史的建造物(保管部材)の復元	歴史的建造物(保管部材)の復元	棟	3	0
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	****	****	どちらかをチェックしてください		

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	同じく旧町に所在する「秋田家住宅」の、国登録文化財への登録が平成27年度中に実現し、その周知によって「歴史的建造物」へと関心を引き寄せる機会が増加した。	工事費用だけでなく復元する敷地も必要としており、事業の進展には庁内外の調整以前の課題の精査を必要としている。

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	市の財政状況や公有地の状況などを勘案しながら、歴史資源である部材3棟分の活用を実現していく。
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	保管中の部材の劣化を防止するため、くん蒸処理(殺虫・殺卵)の実施は最低でも隔年必要となる。
評価日	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性	
	保管庫敷地内の植木が南側の住居の敷地に伸びており、隣接の畑に影響を及ぼしているため、本年度中に剪定を実施する。			復元にかかる市の財政的負担を軽減する方策を模索すると同時に、部材の効果的な活用方法についても検討を進めていく。	
評価日	H28.8.10	評価者職氏名	文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦		

環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全	有害な環境影響を及ぼす原因活動	部材のくん蒸処理	規制を受ける環境法令等	有
					緊急事態	有